

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年11月25日(2021.11.25)

【公開番号】特開2021-79192(P2021-79192A)

【公開日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2021-024

【出願番号】特願2021-29389(P2021-29389)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月18日(2021.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能であり、

所定のカウンタを有し、

有利区間ににおいて、所定のカウンタに記憶されている値を更新可能とし、

有利区間ににおいて、所定のカウンタに記憶されている値が「0」となった場合には、有利区間を終了可能とし、

有利区間ににおいて、ボーナスの当選情報を持ち越している状況で所定のカウンタに記憶されている値が「0」となった場合にも、有利区間を終了可能とし、

有利区間ににおいて、所定条件を満たした場合には、所定のカウンタに「1」を記憶した後、所定のカウンタに記憶されている値を更新することによって、所定のカウンタに記憶されている値が「0」となり、有利区間を終了可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかし、前述の従来の技術において、カウンタを用いた処理に改善の余地があった。

本発明が解決しようとする課題は、カウンタを用いた簡素なプログラムで有利区間を終了可能とすることである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0005】**

本発明は、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能であり、

所定のカウンタを有し、

有利区間ににおいて、所定のカウンタに記憶されている値を更新可能とし、

有利区間ににおいて、所定のカウンタに記憶されている値が「0」となった場合には、有利区間を終了可能とし、

有利区間ににおいて、ボーナスの当選情報を持ち越している状況で所定のカウンタに記憶されている値が「0」となった場合にも、有利区間を終了可能とし、

有利区間ににおいて、所定条件を満たした場合には、所定のカウンタに「1」を記憶した後、所定のカウンタに記憶されている値を更新することによって、所定のカウンタに記憶されている値が「0」となり、有利区間を終了可能とする

ことを特徴とする。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0006**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0006】**

本発明によれば、カウンタを用いた簡素なプログラムで有利区間を終了可能とすることができる。